

報道関係者各位

PRESS RELEASE 2014 年 5 月 22 日

No.2014-014

“地方の魅力発信若手リーダー米国派遣事業” 取材に関するご案内

～ 地方の次代を担う若手9名が6月にNY・オースティンで地域活性化の取組みを紹介～

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、日本の地域活性化の次世代を担う若手リーダーを対象とした「地方の魅力発信若手リーダー米国派遣事業」を開始致します。その第1弾として、2014年6月に、全国の各地方自治体で地元の活性化について顕著な活躍をしている、計9名を米国へ派遣します。

今回は、この9名が、世界への発信力が高く、社会的起業やコミュニティ開発でも有名なニューヨークにて、米国の地域活性化の関心層に対して、各自の取り組みや、地元の魅力についてのプレゼンテーションを実施します。さらに、ニューヨーク、および、食や環境などを通じた地域活性化で近年注目をあびているテキサス州のオースティンにて、関連施設への訪問や、現地で地域活性化に取り組む人々と、各自の取り組みや地元の魅力についての意見交換を実施します。

日本を地方から盛り上げようと日々奮闘する若者たちが、米国で同じような取り組みを行っている人物と交流する場を、是非ご取材いただけますと幸いです。

■ 地方の魅力発信若手リーダー派遣 第1弾概要

【派遣期間】： 6月8日(日) ～ 6月15日(日) 6月6日(金)に都内でオリエンテーションを実施

【米国訪問先】： ニューヨーク(ニューヨーク州)・オースティン(テキサス州)

【活動内容】： ・米国の地域活性化の関心層に向けたプレゼンテーション
・米国で地域活性化に取り組む人々との意見交換
・地方自治体 / NPO / 企業等訪問 他

【参加者】： (上段:氏名、中段:活動内容、下段:出身道県)

各地方自治体からの推薦



おかべ あきら
岡部 央
北海道の女流杜氏を目指す
北海道



さいとう きゆう
齊藤 超
房総密着農業家
千葉県



さいとう こうすけ
斎藤 幸輔
ICT教育を通じた地域活性化
新潟県



とだ たつあき
戸田 達昭
山梨の若手起業家
山梨県



あきもと しょうじ
秋元 祥治
地域産業演出家
岐阜県



なかがわ ゆうき
中川 雄貴
超過疎地×インバウンド仕掛人
三重県



にしはら こうたろう
西原 孝太郎
バリさんの生みの親
愛媛県



とくしま だいさく
徳島 大作
シェアハウス経営の先駆者
佐賀県



さかい かずのり
酒井 一徳
奄美群島の建築家
鹿児島県



6月6日(金)に実施する出発前オリエンテーションに関しても、ご取材を希望の方は資料下部のお問い合わせ先よりご連絡ください。

●本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 青少年交流室(担当: 吉田、大野)

Tel: 03-5369-6022 / E-mail: Takeshi.Yoshida@jpf.go.jp Asami.Ono@jpf.go.jp

●ご取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金 PR 事務局(株式会社ベクトル内 担当: 曾根、中野)

Tel: 03-6825-3020 / Fax: 03-5572-6065 / E-mail: jpf-pr@vectorinc.co.jp

【参加者プロフィール】 ※出身都道府県別

■岡部央(北海道)

造り酒屋・田中酒造株式会社に入社後、日本酒を始め、梅酒などのリキュールの製造や、新製品の開発に従事している。そのほか小樽商工会議所の「未利用果実プロジェクト」の一員として、北海道産の原料を使用した酒類製造の研究・開発に携わっている。

■齊藤超(千葉県)

千葉県にて無農薬、有機栽培による大豆、米を生産し、地元農産物を使用した無添加の味噌作りを実施。その無農薬栽培による地域農業の活性化に注目が集まっている。また、所有田畑の生物多様性が認められ、所有する水田周辺を千葉県の学校ビオトープに提供している。

■斎藤幸輔(新潟県)

「小学生・中学生に向けたプログラミング教育」に関する事業計画を立案中。日本の若者の起業意識や自己効力感の低さを問題意識として捉え、日本再興戦略-JAPAN is BACK-にも盛り込まれた「プログラミング教育」の展開を加速(地方展開)し、「事業を創造すること」を通して地域を活性化することを目指している。

■戸田達昭(山梨県)

山梨県初の学生起業家として大学院修士一年時に「株式会社 SPARK」設立。地域でのイベントやフリーペーパー事業を通じた人材育成を行い、その人材を企業とマッチングするビジネスを展開。その後大学院卒業と同時に山梨大学発ベンチャー企業「シナプテック株式会社」を設立し、バイオやエネルギーの分野の事業を軸に、ICT 関連の事業や起業家支援、各種コンサルティング事業に取り組んでいる。また、社会活動のプロジェクトチーム「やまなしの翼プロジェクト」を設立し多様な担い手参画型の地域づくりモデルを構築している。その功績が認められ、歴代最年少で第六期中央教育審議会生涯学習分科会委員に任命される。

■秋元祥治(岐阜県)

1997 年にディベート全国一を受けて、岐阜県民栄誉賞を受賞。2004 年には、経済産業省の進める「チャレンジ・コミュニティ創成事業」に全国最年少のモデルプロデューサーとして選出される。傑出した取り組みが全国的な注目を集め、各種メディアにて取り上げられる。経済産業省「地域産業を創り出す 33 人の演出家たち」のうちの一人として、また、日本の主な若手社会起業家の一人として注目を集めている。

■中川雄貴(三重県)

津市の山間部・美杉町で温泉リゾートの経営に携わり、積極的に外国人観光客誘致に取り組んでいる。伊賀地域や三重県など広域連携による、温泉と忍者の体験パックが1年間で1000人の集客を越えるなど、大きな成果を上げている。超過疎地でもある地域の「ありのままの暮らし」をテーマに、地域資源を発掘し滞在型の観光へと繋げる新たな取組を進めている。地ビール醸造責任者でもあり、地域の農産物を一部に使用した二種のビールは「みえセレクション」にも選定されている。世界経済フォーラム Global Shapers Community Member にも選出されている。

■西原孝太郎(愛媛県)

「今治タオル」のブランディングで注目を集める愛媛県今治市で生まれる。5年前より今治の魅力を発信するキャラクター「バリィさん」の事業を展開し、地域活性化に貢献。「バリィさん」が「ゆるキャラグランプリ2012」でグランプリを獲得した後は、全国各地での講演等も精力的に行っている。

■徳島大作(佐賀県)

佐賀県佐賀市を拠点に、国際交流シェアハウス、シェアオフィスを提供する「シェアハウス Dockyard」を設立。シェアハウスの運営を通じて、「海外との交流を楽しめるまちづくり」「独立をしたい人が活動しやすいまちづくり」を実施している。設立から2年間で、27ヶ国からの利用者と3人の日本人の海外留学援助を行った。

■酒井一徳(鹿児島県)

鹿児島県奄美市を拠点として、クリエイター集団「Shall we Design」を立ち上げ、奄美群島の人々にデザインする楽しさ、仕組みを広め、島外に向けて「島の素材や魅力」を効果的に魅せていく活動に従事。また、若者が自分たちでシゴトを創っていきける基盤を作り、UI ターン者増加を目指した地域活性化に取り組んでいる。

本事業は、日本政府(外務省)が推進する「KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow- (北米地域との青少年交流)」の一環として実施
国際交流基金 KAKEHASHI ウェブサイト: <http://www.jpf.go.jp/j/intel/youth/index.html>

●本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 青少年交流室(担当: 吉田、大野)

Tel: 03-5369-6022 / E-mail: Takeshi.Yoshida@jpf.go.jp Asami.Ono@jpf.go.jp

●ご取材に関するお問い合わせ: 国際交流基金 PR 事務局(株式会社ベクトル内 担当: 曾根、中野)

Tel: 03-6825-3020 / Fax: 03-5572-6065 / E-mail: jpf-pr@vectorinc.co.jp